

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月31日
南信州地域振興局

提出区分		実績				
整理番号		5	課題区分		C	
実施機関		南信州地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名		リニア新時代に向けた広域観光推進事業			電話	8-237-2261
				E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線開通を8年後に控え、南信州の広大な地域に点在する小規模ながら魅力的な観光素材を広くPRすることで知名度向上と誘客促進を図る。				
	現状と課題	【現状】 ○南信州地域における観光客の7割は中京、東海方面を中心とした県外客であり、全体の8割は日帰りとなっており、通過型観光地となっている。 ○観光の素材としては、先人から受け継がれてきた多様な民俗芸能や小規模ながら魅力的な資源が多数、点在している。 【課題】 ○規模の小さい観光地が広大な地域に点在しており、知名度も低くその魅力を十分に伝えきれていない。 ○信州DCでの取組を一過性のもとすることなく、今後もJR飯田線の活用やJR東海と連携した事業の継続的な推進が求められている。				
	内容 (変更後の内容)	○秘境駅号の運行にあわせ、地元観光関係者と共同のおもてなしイベントの開催やJR東海と連携した観光情報の発信を行う。 ○観光素材を活用したツアー造成の促進やサイクルツーリズムの可能性を探るための実態調査、及び南アルプス中央構造線を巡るモニターツアーの実施など観光素材の効果的な発信を行う。				
	事業期間	平成31年4月		～	令和2年3月	
	成果目標 (成果指標)	○造成モデルコースの旅行会社等による実施 ○サイクルツーリズムの実態調査の実施 ○南アルプス中央構造線を巡るモニターツアーの実施				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	JR飯田線を活用した広域観光推進事業	おもてなし事業等	1,314,353			
	観光素材の効果的な発信	造成モデルコースの旅行会社等による実施	891,948			
	サイクルツーリズムの実態調査の実施	実態調査	277,902			
	南アルプス中央構造線を巡るモニターツアーの実施	モニターツアーの実施	691,177			
合計			3,175,380			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	○JR東海と連携した誘客促進 ・JR東海旅行商品とのタイアップポスターの作成(春1本、夏3本、秋1本) ○モデルコースのツアー実施(ツアー数:1件) ○南信州地域におけるサイクルツーリズム実態調査の実施(R1.9～R2.1) ○南アルプス中央構造線を巡るモニターツアーの実施(R1.11.3～4) ○「三遠南信街道でたどる歴史浪漫」パンフレットの増刷(R2.3)		○JR東海と連携した誘客促進【ポスター-B1 700、B3 2600、JR東海主要駅及び在来線全線中吊り広告 掲出期間357日間】 ○モデルコース【参加者数:134名】 ○サイクルツーリズム実態調査【一般観光客:100サンプル、イベント参加者:29サンプル、市町村・DMO:16サンプル】 ○中央構造線を巡るモニターツアー【参加者:21名】 ○「三遠南信街道でたどる歴史浪漫」パンフレットの増刷 H29制作のパンフレットを1,700部増刷		○期待以上 ●期待どおり ○やや下回る ○期待以下	
今後の方向性	○引き続き、JR東海と連携し、臨時列車(秘境駅号)の活用やツアー商品とのタイアップによる「南信州」の発信を行い、シードルやサイクルツーリズムといった新たな観光素材が活用できるよう、地元関係者と連携し誘客促進に取り組む。					